



1. 「翔んで埼玉」の映画に家族そろって出演したことなど、さまざまな話が飛び出した / 2. 魔夜さんのファンの男性は「いい意味でつかみどころがなく不思議なキャラクターが魅力」と語った / 3. トークショーの後、サイン会を行った / 4. 木村忠夫さんと来場者が、漫画の魅力について話し込む場面もあった

「漫画の世界を楽しむ」

梁川美術館で開催された漫画色紙展に合わせ、7月18日、「パタリロ！」などの作品で人気の漫画家^{まやみねお}魔夜峰央さんと、日本漫画学舎代表の^{きむらただお}木村忠夫さんのトークショーが開かれました。魔夜さんは中学時代、近所の貸本屋の本を全部読破したことを明かし「新潟は雪で閉ざされるから、漫画を描くしかやることがなかった」と、漫画との出会いをユーモラスに語り、会場の笑いを誘いました。来場者たちは、普段は聞くことのできない貴重な話に耳を傾けていました。

市長コラム



第36回 デルタ株の猛威

感染力の非常に強いインド由来の変異型ウイルス「デルタ株」が急拡大しており、ほぼすべてが置き換わっていると推測されます。

このデルタ株は、今までの従来型と比べ2倍の感染力があるとされています。また海外の研究グループが約20万人のコロナ患者を分析したところ、入院リスクが2.08倍、ICU（集中治療室）必要リスクが3.34倍、死亡リスクが2.32倍となっていたと発表しています。感染すれば従来型とは比較にならないリスクがあることがデータで示されています。

今までは家族一人が感染しても他の家族に感染させないこともありましたが、この変異株ではほぼ全員に感染が広がっています。ですから私たち大人が外での行動に気をつけないと、自分ばかりか家族にもつらい思いをさせてしまうということを強く認識しなければなりません。

さて、最近気になることに、マスクをしないで外

出や会話をする人が多くなったように感じます。ワクチンを2回接種したことによる安心感なのかもしれませんが、十分な免疫ができるまでは2回目接種から2週間程度必要ともいわれていますし、また、接種した人が感染する事例や、ほかの人へ感染させる事例も報告されています。

ワクチン接種は、コロナの発症を抑えたり、発症した場合でも重症化を防ぐ大きな効果がありますが100%ではありません。自分やほかの人を守るためにも接種後もマスクをつけて行動してください。

デルタ株は従来型と感染力が全く違います。今まで大丈夫だったからといって今後も感染しない保証はありません。市では全力でワクチン接種に取り組んでいきますが、どうかこれまで以上にマスクの着用、手洗い消毒、3密の回避など基本的対策の徹底をぜひともお願いします。

絵田博行